大津町立小、中学校通学区域及び教育施設検討委員会

第３回　特別部会　次第

日時：令和８年９月11日(金)10:00～

場所：大津町役場２階　町民協働ルーム

１　開会

２　教育部長挨拶

３　議題

1)前回(第２回)特別部会の会議録について

2)新区に対する再アンケート実施状況について

3)「特別部会の意見書」(案)について

4)その他

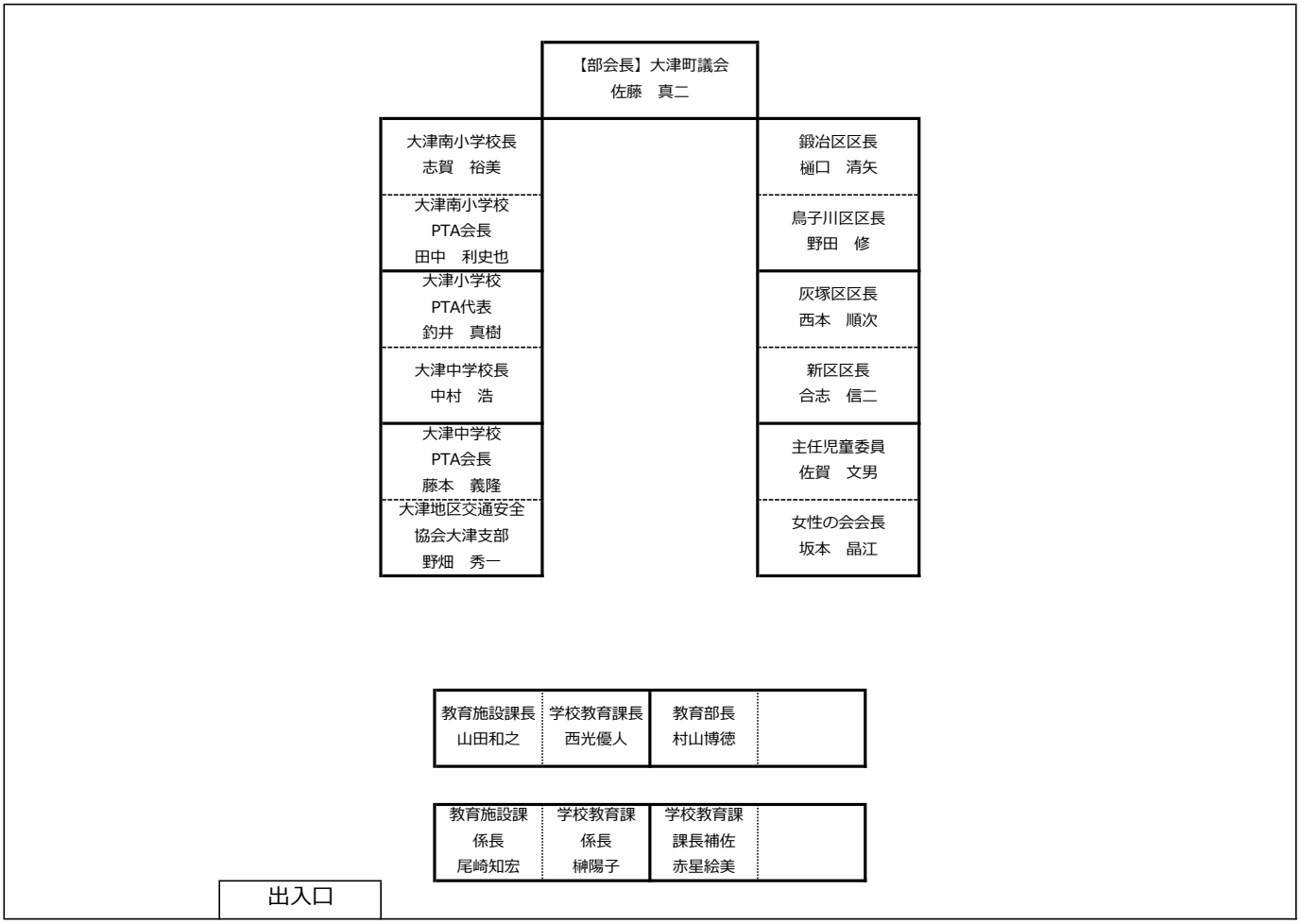
※次回(第２回検討委員会(全体会))

⇒　9/25(金)10:00 から　　会議室 302 にて

４　閉会

# 席次表《260911開催（庁舎２階　町民協働ルーム）》

令和８年９月（敬称略）




※大津小学校（村田校長）より事前欠席連絡受領済

【memo】

大津町立小、中学校通学区域及び教育施設検討委員会「特別部会」委員名簿

| No. | 名簿番号 | 所属 | 氏名 | 職名 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 4 | 大津町議会 | 佐藤　真二 | 文教厚生常任委員会副委員長 | |
| 2 | 10 | 区長会 | 樋口　清矢 | 理事（鍛冶区） | |
| 3 | 11 | 区長会 | 野田　修 | 理事（鳥子川区） | |
| 4 | 13 | 区長会 | 西本　順次 | 理事（灰塚区） | |
| 5 | 19 | 区長会 | 合志　信二 | （新区） | |
| 6 | 20 | PTA | 釣井　真樹 | 大津小学校 | |
| 7 | 23 | PTA | 田中　利史也 | 大津南小学校 | |
| 8 | 27 | PTA | 藤本　義隆 | 大津中学校 | |
| 9 | 29 | 学識 | 佐賀　文男 | 主任児童委員 | |
| 10 | 30 | 学識 | 坂本　晶江 | 女性の会会長 | |
| 11 | 32 | 学識 | 野畑　秀一 | 大津地区交通安全協会大津支部 | |
| 12 | 33 | 校長会 | 中村　浩 | 会長（大津中学校長） | |
| 13 | 34 | 校長会 | 村田　典子 | 副会長（大津小学校長） | |
| 14 | 37 | 校長会 | 志賀　裕美 | 大津南小学校長 | |

大教学第１２８０号
令和８年９月８日

新区の保護者様

大津町教育委員会学校教育課

新区の通学区域検討に係る再アンケートのお願い

日頃より本町の学校教育にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

大津南小学校の建替に伴う通学区域については、６月に皆様にアンケートにご協力いただき、その後、意見交換会や検討委員会特別部会で検討を重ねているところです。

特別部会で、現時点での通学路の安全確保等の見通しを示したうえで、再度新区の皆様の率直な意思を確認したいとの結論になりましたので、意向確認アンケートを再度実施させていただきます。期間が短く申し訳ございませんが令和８年９月１７日（木）までに下記のＱＲコードからご回答をお願いいたします。

南小校区になった場合の通学路について、意見交換会や特別部会で挙げられた意見や、町の見解は以下のとおりです。（別紙通学ルート（イメージ）をご覧ください。）

○歩道が整備されている紫ルートが一番安全である。
○青ルートも安全であるが、遠回りになるため現実的ではない。
○赤、緑、黄のルートは、道が狭く歩道がないため安全面が心配である。また、民家が少なく見守る人が少ないことや、クーリングシェルター等がないことも不安である。
※町としては、街灯や防犯カメラの設置等、可能な限りの対応をしたいと考えていますが、歩道の整備については、用地の確保に相当の時間と費用を要するため、令和１２年４月の供用開始までの完了は困難であると見込んでいます。
○旗振りの箇所は大津小への通学時と比較し、多くなると考えられる。

ＱＲコード

問い合わせ先
大津町教育委員会　学校教育課　担当：西光、赤星
TEL：096-293-3349

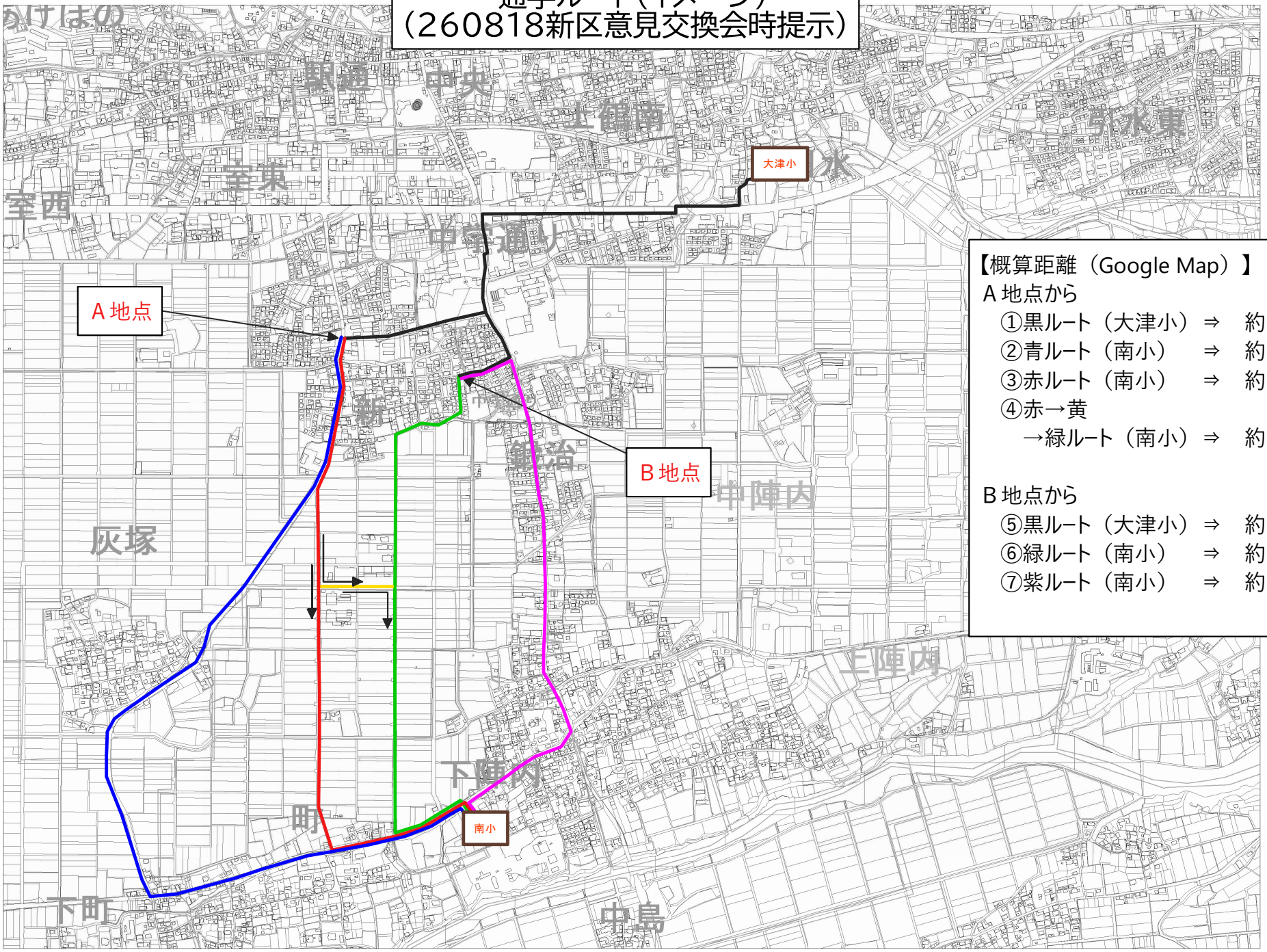
Ｑ１　お子様の年代をお選びください。
□小学校２年生（平成 30 年４月２日～平成 31 年４月１日生まれ）
□小学校１年生（平成 31 年４月２日～令和２年４月１日生まれ）
□５歳児（令和２年４月２日～令和３年４月１日生まれ）
□４歳児（令和３年４月２日～令和４年４月１日生まれ）
□３歳児（令和４年４月２日～令和５年４月１日生まれ）
□２歳児（令和５年４月２日～令和６年４月１日生まれ）
□１歳児（令和６年４月２日～令和７年４月１日生まれ）
□０歳児（令和７年４月２日～令和８年４月１日生まれ）

Ｑ２　保護者の意向をお選びください。
□従来どおり大津小へ通わせたい
□令和１２年４月から南小へ通わせたい
□どちらでもよい

Ｑ３　Ｑ２で選択した意向の理由をご記入ください。

Ｑ４　ご回答ありがとうございました。以下は、「自由意見記入欄」となりますので、校区の在り方について感じておられることや、町の教育行政について感じていることなどをご記載いただければ幸いです。

# 通学ルート(イメージ)
# (260818新区意見交換会時提示)




【概算距離（Google Map）】

A 地点から

①黒ルート（大津小）⇒　約1.6キロ
②青ルート（南小）　⇒　約2.8キロ
③赤ルート（南小）　⇒　約1.9キロ
④赤→黄
　→緑ルート（南小）⇒　約1.9キロ

B 地点から

⑤黒ルート（大津小）⇒　約1.5キロ
⑥緑ルート（南小）　⇒　約1.7キロ
⑦紫ルート（南小）　⇒　約1.6キロ

新区意見交換会

［会議録］

日　時：令和８年８月１８日（火）19:00～20:10

場　所：大津町生涯学習センター　大会議室

出席者：新区長、住民 14 名

事務局５名（学校教育課、教育施設課）

■次第

1　開会

2　教育部長挨拶

3　本日の趣旨説明

4　現状の説明

5　アンケート結果の説明

6　大津小への現通学路と南小への通学路案（３ルート）の距離の比較

7　意見交換

■意見交換の記録

事務局：今回の意見交換会は、大津小と南小のどちらにするか決めるものではありません。新区の皆様の意見を整理し、今後開催される特別部会に報告するための機会ですので、率直なお考えを聴かせていただきたいと考えています。
本日ご参加いただいた皆様の中で、お子さんがまだ小学校に通っていない５歳児以下のみの方は挙手をお願いします。

住　民：（５人挙手）

事務局：新区におけるアンケートでの校区選択の意向は、大津小と南小を希望される方が約半々という結果でした。また、現在小学生がいる世帯と、５歳児以下のみの世帯では、多少意向の割合に違いがありました。
南小に通う場合のメリットや期待していること、また心配な点についてどのようにお考えですか。

住　民：南小への通学路案の全てにおいて街灯が少なく、冬場になると安全確認が難しい。また、田んぼ道や畑道を通るが、近くに用水路があるため、転落が懸念される。

住　民：検討委員会にも出席したが、カントリーの横などの農道を通った場合、朝の通勤時間帯の交通量が多いことや、夕方子どもたちだけで帰る時の安全対策、また、歩道があるルートを選択すると大回りになることなど通学路に関する不安が多かった。

住　民：学校の空調設備の導入はされているか。

事務局：教室については、町内全ての小・中学校で導入しています。体育館については、今年度大津中と北中に導入予定であり、来年度以降に小学校に順次導入予定です。

住　民：新しい学習環境で学べることはメリットだと考えるが、それよりも、せまい通学路に工事車両が通ることや、歩道がなく危険であること、人が少なく不審者がでた時に逃げ込む場所が無いことなどが心配である。

住　民：南小は、少人数で授業を受けられることで学力面でメリットがあり、また地域の方が家庭科の時間に参加するなど、地域密着型のところが良い。一方で、南小の通学路には旗振りが必要な箇所が６箇所あり、子ども会で旗振りする保護者が減っている現状では現実的ではない。また、用水路の水位も高いので心配される。

住　民：大津小と南小の選択制になった場合、登校班の編成が大変になるのではないか。

事務局：通学区域については、それぞれ地域のコミュニティがあるため、また、１０月に行う学級編成が困難になることから、各世帯ごとに学校を選択する「学校選択制」は検討しておらず、新区、灰塚区の区ごとに選択することになります。新区で意見が拮抗した場合は、検討委員会の答申を受け、教育委員会で検討することになります。

住　民：兄弟姉妹で異なる学校へ行くことに不安はある。

事務局：過去に、大津小から美咲野小に分離した時は、上のお子さんが卒業するまでは、下のお子さんも大津小に通うことができる経過措置により柔軟な移行期間を設けました。今回も、仮に校区が変わることになれば同様の経過措置を設けることになります。

住　民：南小は、せまい農道を通らなければならないことや、交通量が多いことなど、通学路が一番不安である。大津小の通学路は歩道もあり、人もいるため安全面では全然違う。

住　民：自分の子どもが大津小の増築された新しい教室で学び、子どもとの話からも良かったと思うので、新校舎には期待している。

住　民：カントリーの横を歩いてみたが、歩道や横断歩道がなく、軽トラも停まっていたので危ないと感じた。通学路や登校の心配が大きい。少人数には惹かれる部分もあるが、中学校に行った時に馴染むのか心配もある。

住　民：途中で学校が変わることで精神的に不安になるのではないか心配する。また、決まったルートとは違うルートで帰ることも考えられるので、他に危険な場所が把握できるようなものがあると良い。

住　民：自分が南小出身ということもあり、南小のクラスの規模や少人数に魅力を感じている。中学校は８クラスになり最初は馴染めるかと思ったが、自分が経験したうえでは小学校が少人数だったのは良かったと思っている。

住　民：南小の少人数の良さや新しい校舎という点で期待している。通学路に関しては、５７号線を跨がないため車の通りが少なく安全だと考えていたが、皆さんの意見を聞いて、整備してもらえたらありがたいと思う。

住　民：大津小では子ども会単位での行事はないが、南小は子ども会や、地域を巻き込んだ行事はあるか。

事務局：南小全体としての活動はありませんが、地域の方による学校の授業の支援などは行われています。

住　民：南小の通学路にクーリングシェルターが無いのは懸念事項の一つになる。

住　民：児童が下校する時に、先生が同行したり、要所に立つことはあるか。

事務局：新一年生にはしばらくは下校の指導等がありますが、学校の働き方改革もあり、地域の方にご協力いただいている状況です。

住　民：南小の通学路には民家が少なく、見守る人がいるのか心配である。

事務局：通学路の安全については、灰塚区の意見交換会でも同様に、一番の心配する点として挙げられました。防犯カメラを設置することで抑止にはなると考えますが、南小前の県道に出る前までに建物が４つしかなく、子どもＳＯＳの家を設置することも難しい状況であると思いました。また、用水路については、蓋をすると維持管理ができなくなり、土砂が田んぼに流れ込むことなども想定されるため、農家は難色を示されると考えています。本日いただいたご意見を持ち帰り、しっかりと整理します。